



日本共産党横浜市議団が予算要望を市長に提出

## アベノミクス追随ではなく、市民優先の予算を

日本共産党横浜市議員団は1日、2015年度予算編成に対する要望書を、林文子市長に提出しました。

要望は、2期目2年目を迎える林市長がアベノミクスを取り込んで、高速横浜環状道路や国際コンテナ戦略港湾整備など大型開発事業を推し進め、次世代に負担をつけ回し、市民生活が置き去りになっていると批判。国策追随路線を転換して財源を捻出し、市民の切実な要望を実現するよう求めています。党市議団が行った市内諸団体との懇談や市民アンケートの結果などを局別に大項目75小項目285にまとめました。

### 横浜の市民力を高める予算に

要望書提出後の市長との懇談で、大貫憲夫団長は少子高齢化、人口減少、横浜経済の低迷など問題意識は市長と同じだと思うが、横浜の市民力を高めるために予算を使ってほしい、カジノを横浜に誘致することには非常に心配していると述べました。

あらき由美子議員は、小児医療費無料化の年齢引き上げは避けて通れない問題であり、来年度予算でぜひ引き上げてほしいと要望。白井まさ子議員は、来年度から始まる子ども子育て新制度では国からお金が出るようになったからといって市の負担を減らすことがないように、求めました。



予算要望書提出後、林文子市長（左）と懇談する日本共産党横浜市議団  
＝9月1日、横浜市役所内

また、古谷やすひこ議員は、特別養護老人ホームが不足しており、今までご苦労された高齢者の終の棲家を確保するようにしてほしいと要望。岩崎ひろし議員は、市民アンケートには渋滞などの身近な道路の改善を求める要望が多いが何十年たっても改善しない、現場重視を引き続き貫いて、早急に改善してほしいと求めました。

### 林市長「気持ちは一緒だが・・・」

林市長は、共産党の要望はいつも市民の要求を肌で感じたものだと思っており、気持ちは一緒だが、予算の配分が難しい、市民の要望を大切にしていきたいと答えました。

## 議会のお知らせ (議員名は日本共産党横浜市議団の発言予定者)

- 9月3日(水)午前10時 本会議：議案上程・質疑(白井まさ子議員)・付託
- 9月9日(火)午前10時 本会議：一般質問(あらき由美子議員)
- 9月18日(木)午後2時 本会議：議案議決(討論：古谷やすひこ議員)、決算上程等
- 9月26日(金)～10月14日(火) 決算特別委員会(26日の総合審査：岩崎ひろし議員)
- 10月21日(火)午前10時 本会議：決算議決(討論：大貫憲夫議員)

**みなさまの傍聴をお待ちしております！インターネット中継もどうぞ！**